

重点プロジェクト 1 「育てよう、いろんな生物がいる自然！」

1 プロジェクト案

(仮称) 生き物実態調査

2 概要

自然を守り、多様な生き物が生育・生息できる豊かな自然と共生する環境づくりをめざすために、身近な生物や植物の状況の調査を行い、西東京市の生物、植物の分布や生態系について把握する。

3 事業内容

- ア) 実態調査に必要な知識を学ぶ (座学形式)
 - ・ 生き物の種類
 - ・ 識別方法
- イ) 実態調査を行う (フィールドワーク)
- ウ) 実態調査の結果を分析する (座学形式)

4 調査内容

- 調査する生物の種類を決めて、一定の区域で生息しているか調査する
例) サギ、トンボ、ショウリョウバッタ、セミ、カブトムシ、カラス、ツバメ
- 調査する植物の種類を決めて、一定の区域で生育しているか調査する
例) オミナエシ、セイタカアワダチソウ、オオキンケイギク
- 調査対象以外の生物・植物の生息についても興味をもって把握する。
- 一定区域に生育・生息している生き物を観察する

5 実施場所

- 公園
例) いこいの森公園、文理台公園、都立東伏見公園
- 屋敷林
- ビオトープ

6 実施期間

秋ごろの数日若しくは 1 ヶ月間

7 参加者

- ・実施場所の近隣の小・中学生、高校生

8 調査の指導者

- ・環境活動をしている団体
- ・市民ボランティア（公募）

9 調査の報告方法

- ・分布マップの作成
- ・調査結果の一覧作成
- ・植生図の作成
- ・生き物ピラミッドの作成

10 今後の展開

- ・調査区域の拡大
- ・参加者の拡大
- ・調査対象種の拡大
- ・調査結果をもとに、生物多様性を回復するための対策を検討する（外来種の排除や、生態系ピラミッドで生物種が偏っているところの対策など）

重点プロジェクト3 「進めよう、地球温暖化対策！」

1 プロジェクト案

(仮称) エコライフ推進プロジェクト

2 概要

地球温暖化対策を進めるためには、市民や事業者の一つひとつの行動が重要であり、それらを日常生活や事業活動の中で取り組むことが必要である。市民のエコライフを推進するために、どのような生活が効果的であるのか検証するため、モデル地区を設定する。

3 参加モデル地区（条件・資格・規模）

- ・商店会（21 団体 ※産業振興課）、自治会（224 団体 ※協働コミュニティ課）、マンション管理組合（約 290 団体 ※都市計画課）単位での参加
- ・西東京市内に 1 年以上在住の世帯か否かを区別できること（取り組み前後のエネルギー使用量を比較するため）
- ・電気・ガス・水道の使用量データを市に提供できること

4 実施期間

1 年（平成 27 年 月から平成 28 年 月）

若しくは

6 か月（平成 27 年 月から平成 28 年 月）

5 実施内容（モデル地区が行う活動）

○省エネや環境に配慮した生活をする

- 例) 節電・節水・節ガスの奨励、マイバッグの持参によるレジ袋の削減
リユース活動の推進、エコドライブの実践

○環境家計簿記載推進事業

- ・電気、ガス、水道の使用量チェック
- ・ガソリン、軽油、灯油の使用量チェック

○補助金制度を活用した、省エネルギー実践事業

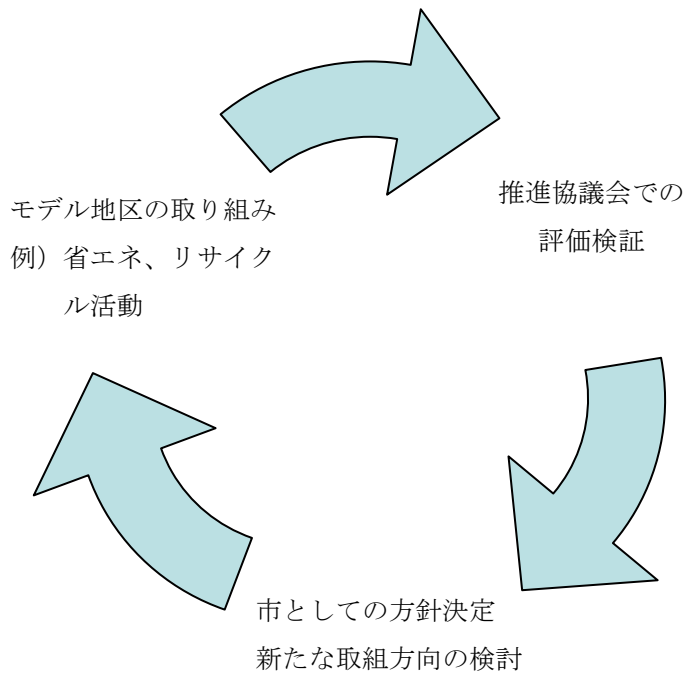
- ・LED 照明全取り換え推進
- ・省エネ家電導入推進
- 例) エアコン、電気冷蔵庫、テレビ、洗濯乾燥機、食器洗い乾燥機
- ・節水機器取り換え事業
- 例) キッチン節湯水栓、温水洗浄便座、節水式トイレ、高断熱浴槽

6 支援内容（市が行う地区に対する支援）

- ・対象地区のエネルギー消費量の集計
- ・二酸化炭素排出量の見える化
- ・取り組みを支援するための先進事例の紹介
- ・省エネアドバイザーの派遣（東京都の事業の活用）
- ・施設見学、研修会など啓発事業の開催

7 効果検証

○本協議会で評価し、来年度以降の水平展開の可能性や、改善点などの検証を行う。



8 検証後の展開

- ・市報やHPに公表する
- ・市全体にプロジェクトを拡大する